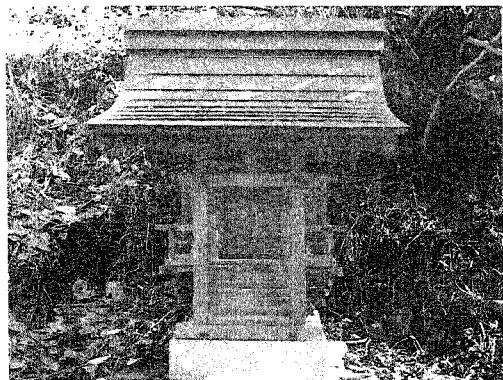


都留市地名考

その十五



中小野権守久氏宅に祀る小野小町の祠

墓（無縫塔と同意か） 小野村真
『甲斐国志』では、菅野熊井戸
村の中に小字として細野、大津が
含まれ、小野村は別村になっていた
る。明治八年、菅野熊井戸村と小
野村が合併し、開地村になった。
小野村には寛永四年（一六二七）
御正体山の奥院から勧請したとい
う若宮神社が祀られ、当時御正体
信仰との密接な関係があつたこと
が知られる。

現代小野は上・中・下の三集落
に分れているが、中小野には昔か
ら「小町田」とよばれる所があり、
同所の権守久氏宅の庭隅に、小野
小町（平安前期の女流歌人）を祀
ると伝えられる祠がある。

『甲斐名勝志』に、「○牟登宇

（むこうう）
江国滋賀郡小野村に家す。よつて
小野の地名の起りとなつたとも考
えられる。

『本朝世紀』「史書、平安末期
(九三五一一五三)編、未完」

に、「都留郡ニ小野村アリ、又穗
坂ノ小野ハ歌ニモ詠メリ、小野國
興ハ本州ニ在リシ牧監ノ類ナルベ
シ」とある。牧監とは、牛馬など
放ち飼育する土地（牧）のとりし
まりをする者の官職名である。古
代開地地区は小野村を中心にして「
野牧」がおかれた所であろう。

上野原を本據とする古郡氏と小
野氏は、妹子を祖とする同族で、
都留郡小山田氏とは、親族の関係
にあたる。

都留市商家資料館開館

これは、江戸時代後期の文化・
文政時代（百八十年程前）に作ら
れたものです。

このほか早馬町・下町・仲町で

も保存されており、大変貴重なも

ので、市の文化財でもあり、これ

らは我国染織研究家の第一人者山

辺知行先生と関係者によって、そ

の当時そのままに立派に復元され

たもので、毎年一回、八朔祭の當

日に仁科家のような会所や早馬町

の屋台などで、公開されておりま

すが、今回特別（四月二十九日）

五月九日）に公開展示いたします。



場 所 上谷3-1-20

開館日 火・木・土・日・祝日

開館時間 午前10時～午後4時

入館料 無料

なお、初日の四月二十九日は午
後一時から一般公開し、五月九日
まで十日間連続して開館しますが、
一日からは平常どおりとなります。

なあ、開館記念として、都留市
の代表的な祭り「八朔祭屋台飾り」
幕の内、新町所有の「鹿島踊り」
を展示公開いたします。

また、サークル活動などを大正

火災に遭いその数を減らしてしま
いました。

昨年、この貴重な建物を仁科家

の関係者の方々からご寄贈いただ
き内外の修復工事が完了し、都留

市商家資料館として皆様に親しん
でいただきになりました。

中には大正から昭和にかけての

絹織物などの商家資料や、なつか
しい品々を展示いたします。

時代の雰囲気でしていただけるよ
う多目的室もあります。

また、サークル活動などを大正

火災に遭いその数を減らしてしま
いました。

なあ、開館記念として、都留市

の代表的な祭り「八朔祭屋台飾り」
幕の内、新町所有の「鹿島踊り」
を展示公開いたします。

また、サークル活動などを大正

火災に遭いその数を減らしてしま
いました。

なあ、開館記念として、都留市

の代表的な祭り「八朔祭屋台飾り」
幕の内、新町所有の「鹿島踊り」
を展示公開いたします。

ふるさとの
四月



12日	赤石春日神社例祭	与繩 横町
11日	三島神社例祭 四社祭	下天神町 田野倉 田町
10日	金比羅神社例祭 諏訪神社例祭	市内諸寺 大神宮例祭 太宰府天神社例祭
8日	花まつり	稲村神社例祭 小形山
15日	大神社例祭 仲町	大原 大幡
14日	大神宮例祭	西願寺
13日	太宰府天神社例祭	養蚕神社例祭
12日	稻村神社例祭	法泉寺
11日	機神社例祭	かがめや地蔵尊例祭
10日	半僧坊	お不動さん 龍石寺
9日	長生寺	第三十九回市制祭
8日	豊川稻荷神社例祭	文化会館他
7日	夏狩団子坂	5月5日 石船神社例祭
6日	宝鏡寺	石船神社
5日	豊川稻荷神社例祭	端午の節句 市内各地